

日付：2025年 8月 29日（金）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	車保険料の上げ最大 大手損保4社、6～8.5% について	日経 7 自動車保険 ・損害保険	- 大手損害保険会社4社は自動車保険料を相次ぎ引き上げる。 - 損害保険ジャパンは2026年1月に7.5%、三井住友海上は7%、あいおいニッセイ同和は6%、東京海上日動は2025年10月に8.5%改定し、異例の1年2度の改定となる。 - 背景には修理費高騰があり、2025年3月期の4社合計の保険金支払いは約2兆3000億円と前期比7%増加した。整備業者への修理単価も平均9.2%上昇し、人件費高騰や整備士不足が要因である。自動車保険は正味収入保険料の約5割を占める最大分野だが、保険引受利益は1130億円と24%減少し収益改善が急務である。	- 自動車保険の話題から、次回車検の時期や買い替え、加入保険会社、保険料など情報収集 - 補償だけでなく、世帯の保障まで含め、保険料の調整へ、保障の最新化最適化を訴求
2	社会保障費、物価高で難 路 厚労省概算要求は 最高の34.7兆円 について	日経 5 創客・ ライフ	- 厚労省の2026年度概算要求は34.7兆円で過去最高となり、25年度比1.4%増となった。 - うち年金・医療など社会保障費が32.9兆円と95%を占め、医療費国庫負担は10.5兆円に上る。医療機関の23年度利益率は平均0.7%の赤字で、地域病院では1.4%の赤字と深刻。 - 政府は28年度までに国・地方の公費と保険料を計2.1兆円抑制し少子化対策財源に充てる方針で、OTC類似薬給付見直しなど歳出改革も進める。	- 社会保障制度の課題から、自助努力のための保険活用を訴求 - 公的年金への影響を考慮し、セカンドライフに向け積立訴求
3	米NFL視聴に22万円？ スポーツ配信、 家計に重く について	日経 15 創客・ ライフ	- 米国ではスポーツ中継がCATVから動画配信へ急速に移行している。NFLは月曜夜をESPN、木曜夜をアマゾンが独占するなどチャンネルが分散し、今季全試合を視聴するには最大6種以上の配信契約が必要で1シーズン約1500ドル(約22万円)かかる。 - CATV加入世帯は10年の1億から足元5000万を下回り半減。放映権料高騰の中、ビッグテックは巨額利益を背景に参入を加速し、26年WBC日本独占配信も発表された。	- お客さま情報の再収集(世帯情報や趣味・趣向等) - 創客やアプローチ、提案、再提案の機会の創出
4	企業年金、国内債を半減 10年前比、金利先高観 から15%に について	日経 22 積み立て ・法人	- 企業年金の運用で国内債券の比率が2025年3月末時点で14.6%と10年前の30.3%から半減し過去最低となった。背景には、金利上昇による価格下落懸念がある。代わりにインフラや不動産などのオルタナ資産比率は24.9%と10年で12.1ポイント増え最高を更新した。 - 国内株式も3.7%と低水準で、リスク回避の姿勢が鮮明。外債は29.6%と減少し、為替ヘッジコストの負担が響く。今後もオルタナ資産※への資金シフトが続く見通しとなっている。 ※ オルタナ資産とは、株式や債券といった伝統的な資産以外の投資対象の総称で、プライベート・エクイティ(未公開株)、不動産、インフラ、ヘッジファンド、コモディティ(商品)等をいう。	- 投資や積み立ての話題 - 積み立てのポートフォリオの確認(とくにリスク系商品)から、リバランスへのアドバイス - 左記話題から、リスク系商品から比較的低リスクである積み立て系商品を訴求等

市況情報※

日経平均/前日比	42,828.79/ 308.52	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.500%
TOPIX	3,089.78/ 20.04	国債(5年)/前日差	1.155%/ ▲0.005
ダウ平均	45,636.9/ 71.67	国債(10年)	1.615%/ ▲0.010
上海総合指数	3,843.6/ 43.25	米国債(10年)	4.205%/ ▲0.030
ドル円	147.16-18 59銭高	中国国債(10年)	1.787%/ 0.025

今日は何の日

- 焼き肉の日⇒ 全国焼き肉協会が1993年から実施。「やき(8)に(2)く(9)」の語呂合せ。地域社会への貢献と販売促進を目的とし、全国各地の加盟店が、社会福祉施設等をお店に招待したり、出張バーベキュー等を行っている
- 文化財保護法施行記念日
- ケーブルカーの日
- ベルばらの日

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：能ある鷹は爪を隠す。控えめな実力者

長所

- 物事に動じない
- 優しい嘘がつける
- 常に温和

短所

- 執着心が強い
- 酒に弱い
- 慎まし過ぎる

誕生花：サルズベリ

花言葉：雄弁・愛嬌・不用意・潔白・あなたを信じる

誕生日
カラー
紫色



詳細はこちら

本日の深掘り：自動車保険が10月に跳ね上がる！？その背景と対策！

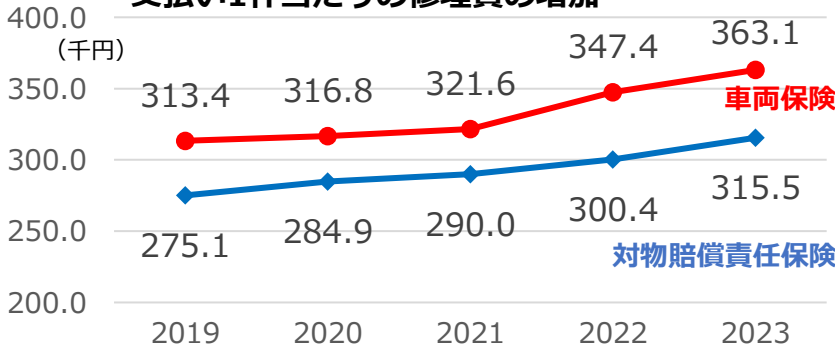
1. 2025年10月、過去最大幅目つ異例の保険料改定が実施されます！（東京海上日動）

- 東京海上日動火災保険は2025年10月に自動車保険料を ① %改定する（引き上げる）。通常は1月改定であるが、前年秋に前倒すのは異例。また、同社は2025年1月にも平均3.5%値上げしており、1年で2回目の改定も異例となる。
- 背景には修理費や部品代の上昇があり、1時間当たりの修理単価を約10%引き上げる方針。
- 損保料率機構によれば2023年度の自動車保険支払額は2兆610億円と前年比8%増。東京海上日動の自動車保険引受利益も659億円と前期比18%減少した。今後は迅速な保険料改定が商慣習となる可能性が高い。（日経新聞記事要約：[日経リンク](#)🔗）

値上げの背景とポイント

- 2025年1月の値上げでは3.5～5%の引き上げ幅となりましたが、一部の保険会社では2025年10月にさらに8.5%～超と大幅な値上げが予定されています。
- 背景には、コロナ禍が明けて交通量が回復したことで事故件数が増えたことや、大規模な自然災害による影響で車両保険の契約1台あたりの保険金が増えていることが値上げの理由の一つです。
- また、近年は物価高騰の影響により修理費用や人件費が増加しているため、**支払い1件当たりの修理費が年々増えています**。特に衝突被害軽減ブレーキ等の安全運転を支援するシステムが付いた車には高価なセンサーが装備されていることから、事故が起きた時には修理費用も高額になりやすいのです。※支払い1件あたりの修理費の増加は、右図参照。

支払い1件当たりの修理費の増加



2. 更新前にチェック！自動車保険料を見直す3つのcheckポイント

以下のポイントを確認して、補償の見直しから、世帯を通じた補償・保障の最新化・最適化を訴求していきましょう！

check	ポイント	詳細（解説）
1 ☐	運転者条件・年齢条件を見直す	- 車を運転する人が変わった時には運転者限定を見直しましょう。例えば、子どもが就職や結婚を機に別居し夫婦2人暮らしになった場合には、家族限定や誰が運転しても補償の対象だった契約を、「本人・配偶者限定」と運転者限定を見直すことで保険料の節約につながります。 - また、運転する人が変わらなくても、年齢が上がったら年齢条件を見直しましょう。同居する家族の中で最も若い運転者が21歳や26歳になったタイミングなど年齢条件を限定して保険料を抑えるチャンスです。さらには、年齢条件は別居の親族には適用されないの、子供が独立したという場合も見直しを行うとよいでしょう。
2 ☐	車両保険の免責金額を高くする	- 車両保険を付けると保険料が高額になってしまいがちですが、免責金額を高くすることで安く抑えられます。免責金額は修理代の自己負担額のこと、自己負担額が大きいほど保険会社の負担も減るため保険料が安くなります。 - 事故時にどのくらいの金額なら自己負担で支払えそうかを考え、免責金額を高くすることも検討してみましょう。
3 ☐	保険会社を比べる	- 自動車保険の保険料は保険会社によって異なります。補償内容が同じでもA社よりB社の方が保険料が安くなることも珍しくありません。 - 特にニュース等で値上げを報じられている損保会社は代理店型と呼ばれており、ネットで申し込めるダイレクト型自動車保険に比べて人件費や代理店手数料等がかかるため保険料が割高になることが多いです。ダイレクト系も含め、お客さまの志向に応じた補償の提供を比較しましょう

参考・引用) 日本経済新聞: <https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0UB240RR0U5A620C2000000/>

本資料は、個人の見解をまとめたものとなっています。参考にさせていただいたサイトはリンク等を掲載しております。また、当社のコンテンツ・情報につきまして、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めておりますが、必ずしもそれらの正確性や安全性等を保証するものではありません。誤情報が入り込んだり、情報が古くなっていることもございます。万が一、当社に掲載された内容によって発生したトラブルや損害等の一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承くださいませ。お問い合わせ等は下記URLまでご照会ください。当コンテンツは、著作権法上の保護を受けています。著作権者の許諾を得ずに、当コンテンツの一部または全部を無断で複製・複製・転載することは禁じられております (<https://labo-ks.co.jp/>)。 © 2025 k's らぼ株式会社 あなうめ: S'80